

---

三菱UFJフィナンシャル・グループ

2006年度第3四半期業績の概要

(2006年4月～2006年12月)

---

2007年1月31日

Quality for You



MUFG

本書には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以下「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをご参照下さい。なお、本書における将来情報に関する記述は上記のとおり本書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本書の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

## ＜本資料における計数の定義＞



### 連結

- PL項目** 06年度第3四半期の計数は三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)  
05年度第3四半期の計数は三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)とUFJホールディングス(連結、4月～9月)の単純合算
- BS項目** 05年12月末以降の計数は、三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)  
05年9月末以前の計数は、三菱東京フィナンシャル・グループ(連結)とUFJホールディングス(連結)の単純合算

### 単体合算※

- PL項目** 06年度第3四半期の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算  
05年度の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)、UFJ銀行(単体、4月～12月)、三菱UFJ信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体、4月～9月)の単純合算  
05年度第3四半期の計数は、東京三菱銀行(単体)、UFJ銀行(単体)、三菱UFJ信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体、4月～9月)の単純合算  
04年度および04年度第3四半期の計数は、東京三菱銀行(単体)、UFJ銀行(単体)、三菱信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体)の単純合算
- BS項目** 06年3月末以降の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算  
05年9月末以前の計数は東京三菱銀行(単体)、UFJ銀行(単体)、三菱信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体)の単純合算

※特に断りのない限り分離子会社を含まない

- 2006年度第3四半期業績サマリー (P/L) 4
- 2006年度第3四半期業績サマリー (B/S) 5
- 貸出金・国内預金 6
- その他有価証券 7
- 自己資本比率 8
- 金融再生法開示債権・与信関係費用 9

# 2006年度第3四半期業績サマリー (P/L)

【連結】



● **連結粗利益は前年同期比+671億円**

➢ 国債等債券関係損益悪化するも、投信関連収益の増加や子会社連結化要因等により増益

● **営業費は前年同期比+1,478億円**

➢ 子会社経費の増加（含む新規連結化）、統合コスト等を主因に増加

● **四半期純利益は6,905億円  
（前年同期比▲3,358億円）**

● **与信関係費用は67億円の益計上  
（前年同期比▲2,855億円）**

## <連結P/L>

(億円)

	05年度第3四半期 (05/4~12月)	06年度第3四半期 (06/4~12月)	増減
1 連結粗利益 (信託勘定償却前)	26,201	26,872	*1 671
2 うち資金利益	13,290	13,798	508
3 うち役員取引等利益	7,780	8,399	618
4 うち国債等債券関係損益	409	62	▲ 347
5 営業費	13,880	15,359	*1 1,478
6 実質業務純益*2	12,320	11,513	▲ 807
7 臨時損益	▲ 1,355	▲ 1,872	▲ 517
8 経常利益	10,956	9,639	▲ 1,316
9 特別損益	4,094	1,862	▲ 2,232
10 四半期純利益	10,264	6,905	▲ 3,358
11 与信関係費用*3	2,922	67	▲ 2,855
12 与信関係費用*3 (単体合算)	3,995	1,144	▲ 2,850

(▲は費用)

\*1 新規連結化要因は粗利益で約1,700億円、営業費で約900億円程度(概算値)

\*2 信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前

\*3 与信関係費用=信託勘定与信関係費用(連結粗利益内) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益内) + 貸倒引当金戻入額

# 2006年度第3四半期業績サマリー (B/S)

【連結】



MUFG

(億円)

- 海外貸出の増加を主因に貸出金は前年度末比+1.2兆円
- 個人預金増加の一方、法人預金は減少し、預金は同▲2.7兆円
- 金融再生法開示債権は同▲6,284億円と引き続き減少
  - 開示債権比率は1.33%に低下
- 06/12末の自己資本比率は12.17%
  - Tier1比率 6.88%
- 繰延税金資産対Tier1比率は3.9%に低下

## <連結B/S>

	06年3月末	06年12月末	増減	06年9月末
1 貸出金 (銀行勘定+信託勘定)	861,131	873,542	12,411	860,078
[貸出金 (銀行勘定)]	[857,631]	[870,219]	[12,588]	[856,711]
2 うち住宅ローン(単体合算)*1*2	182,447	173,609 <sup>*3</sup>	▲ 8,837	174,065
3 うち海外貸出*4	125,958	141,852	15,893	133,827
4 有価証券(銀行勘定)	485,089	489,819	4,729	477,664
5 預金	1,189,880	1,162,588	▲ 27,292	1,156,029
6 金融再生法開示債権 (単体合算)	18,259	11,974	▲ 6,284	12,778
7 開示債権比率 (単体合算)	2.07%	1.33%	▲0.74ポイント	1.43%
8 その他有価証券評価差額	29,532	31,167	1,635	26,668

## <ご参考>

	06年3月末	06年12月末	06年9月末
9 自己資本比率 (Tier1比率)	12.20% (6.80%)	12.17% (6.88%)	11.95% (6.82%)
10 繰延税金資産 (ネット) 対Tier1比率	8.3%	3.9%	7.1%

\*1 賃貸用不動産建築資金を含む

\*2 単体合算+信託勘定

\*3 06年4-12月の証券化実績：約1.2兆円

\*4 海外支店+UNBC

# 貸出金・国内預金

【連結】



●貸出金残高は87.3兆円に増加  
(06/3比+1.2兆円、06/9比+1.3兆円)

<06/9比増減の主要因>

- 海外貸出\*1                                   +0.8兆円
- 国内大・中堅企業向け貸出           +0.3兆円

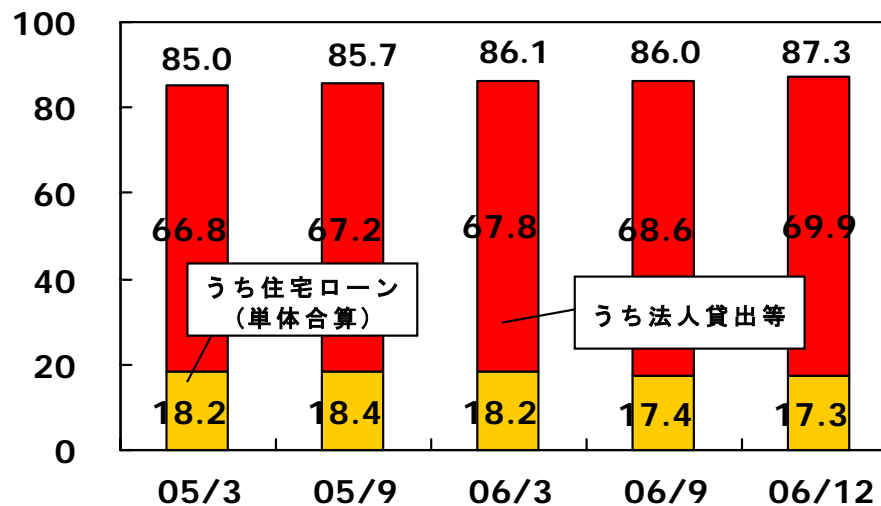
\*1 海外支店+UNBC

●国内店預金残高99.3兆円  
(06/3比▲3.5兆円、06/9比+0.1兆円)

<06/9比増減の主要因>

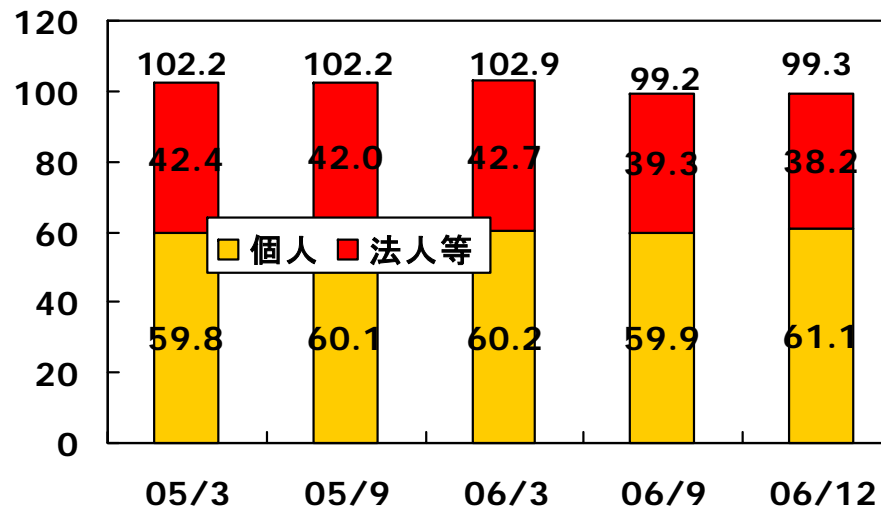
- 個人預金           +1.2兆円
- 法人等預金       ▲1兆円

(兆円)                                   連結貸出金 (末残) \*2



\*2 銀行勘定と信託勘定の合算

(兆円)                                   国内店預金 (末残) \*3

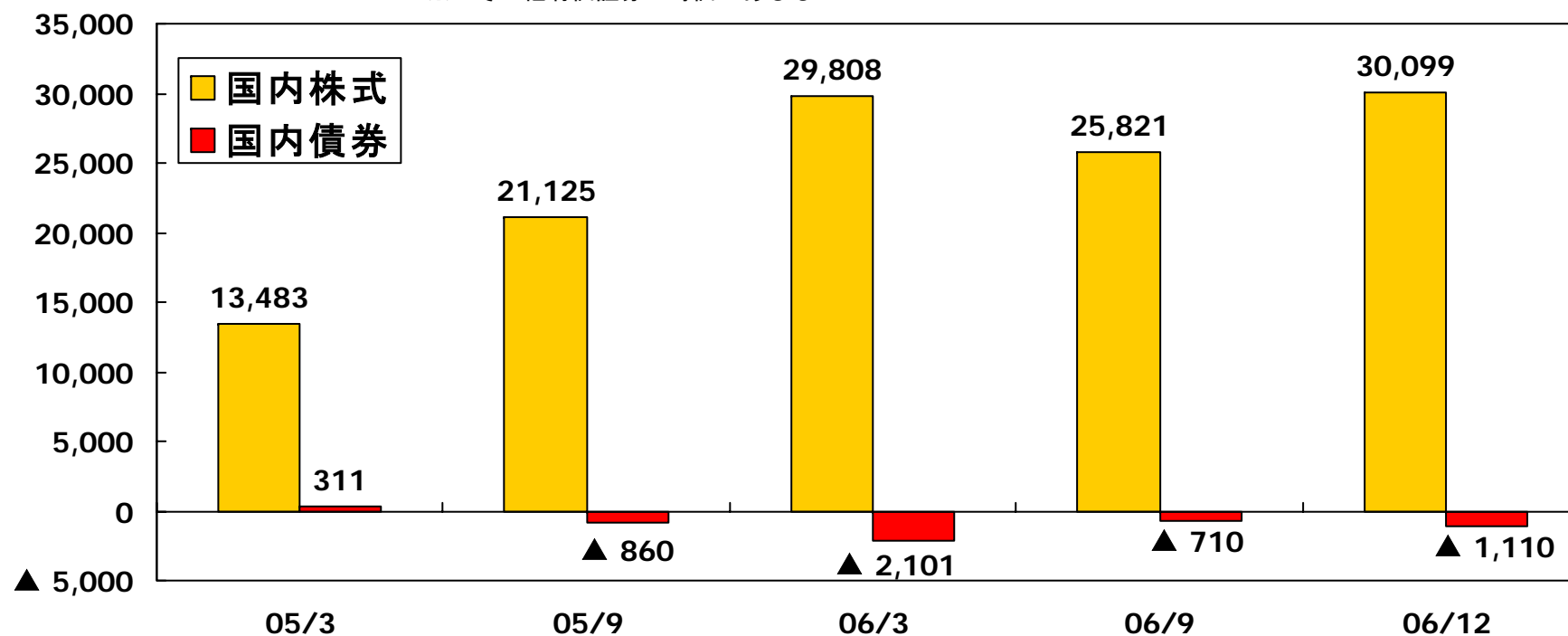


\*3 単体合算、譲渡性預金・特別国際金融取引勘定分を除く

- 06/12末のその他有価証券含み益は約3.1兆円  
 ～株価の上昇を背景に株式含み益が06/9末比4,278億円増加

(億円) 有価証券含み損益（国内株式・国内債券）※

※ その他有価証券で時価があるもの



国内株式保有額 (時価)	5.24兆円	5.93兆円	7.46兆円	7.03兆円	7.47兆円
国内債券保有額 (時価)	29.01兆円	28.42兆円	25.41兆円	23.65兆円	22.92兆円



(兆円)

●06/12末の自己資本比率は12.17%  
Tier1比率は6.88%

<Tier1の変動要因 (06/3比) >

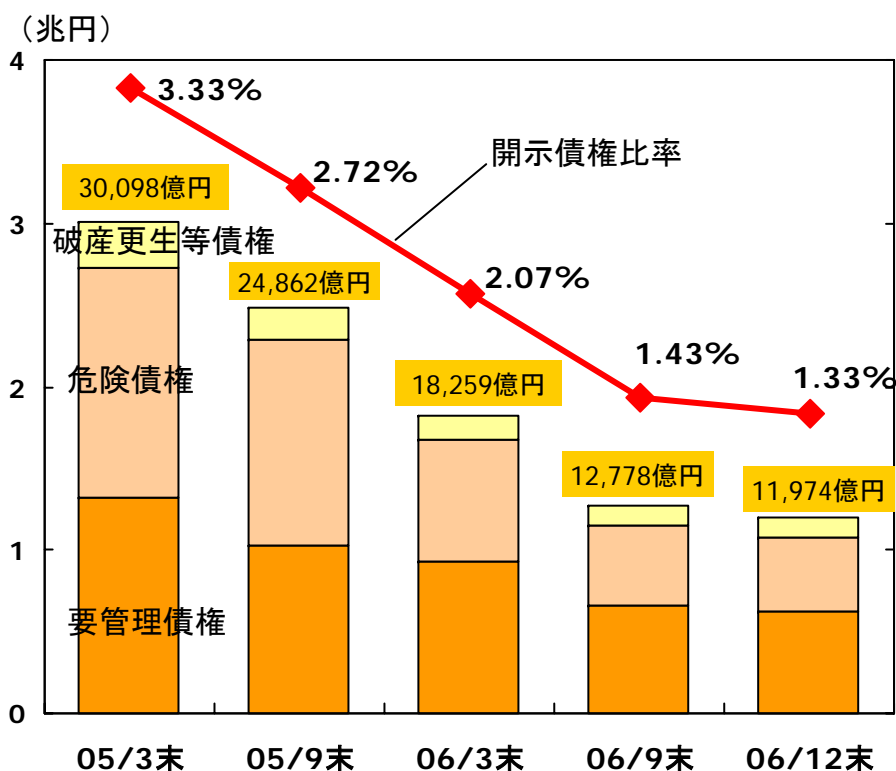
- 純利益 : +0.69兆円
- 公的資金返済等に伴う  
自己株取得 : ▲0.22兆円
- 中間配当金 : ▲0.05兆円

	06/12 (概算値)	06/9	06/3
Tier1	7.91	7.68	7.50
Tier2	6.38	6.07	6.29
うち自己資本に計上された その他有価証券含み益	1.41	1.20	1.34
うち自己資本に計上された 再評価差額	0.16	0.16	0.16
うち劣後ローン(債券)残高	3.93	3.82	3.78
リスクアセット	114.87	112.56	110.29
自己資本比率	12.17%	11.95%	12.20%
Tier1比率	6.88%	6.82%	6.80%

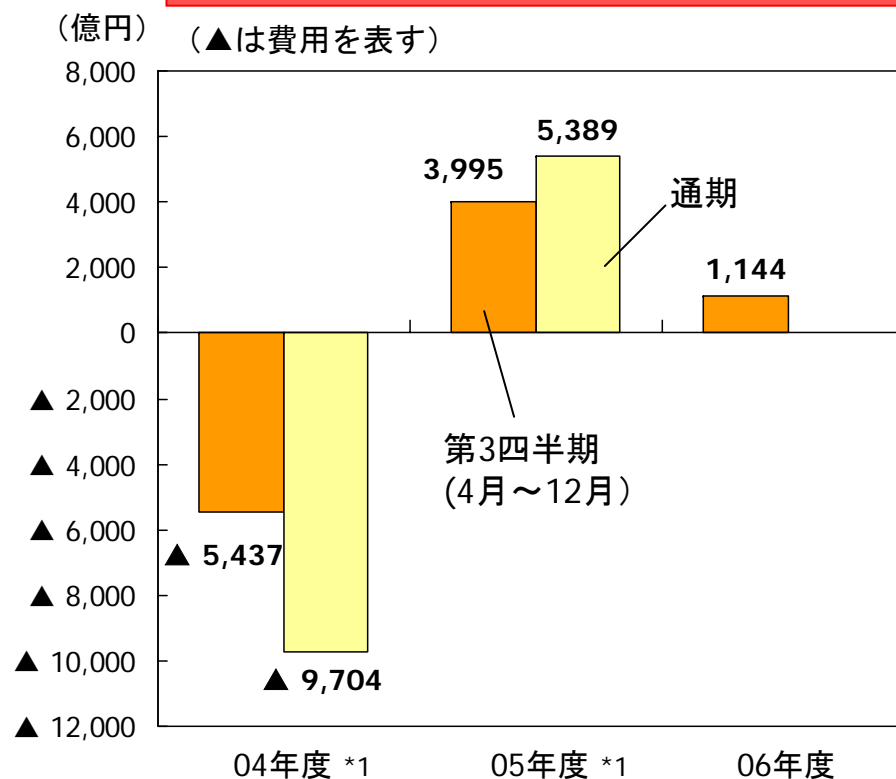


- 貸出資産の質は引続き改善、開示債権比率は1.33%に低下
- 単体合算の与信関係費用は貸倒引当金戻入により1,144億円の益を計上

### 金融再生法開示債権残高



### 与信関係費用 (単体合算)



\*1 04年度第3四半期、04年度通期および05年度通期は分離子会社を含む